

定された事業であり、同交付金は国庫 10/10 である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	104	研修講師報償費（大学教授）
旅費	69	業務旅費及び費用弁償
需用費	11	消耗品、会議費
使用料	46	会場使用料
合計	230	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第7期（次期）岐阜県保健医療計画

「市町村が行う在宅医療・介護連携推進事業を広域的に支援するため、在宅医療、介護の知識を学ぶ研修を実施する。」

(2) 国・他県の状況

国においては、平成30年度より、保険者機能強化推進交付金を創設し、都道府県が行う評価指標分析研修等について財政支援を実施。

他県の実施状況：石川県、富山県

(3) 後年度の財政負担

市町村職員の人事異動を考慮し、毎年度開催する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県直轄で実施する。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 市町村の課題抽出等に資するよう評価指標分析を実施し、在宅医療・介護連携推進事業を充実・強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
① 課題抽出や対応策検討を行う市町村数	0 (H30)	17	20	23		%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。市町村に対し、KDBデータ集計・分析データを提供 ・令和元年11月、大学教授を講師として市町村職員向け分析研修開催。 ・継続的に市町村による課題抽出等の取組状況を把握し、必要な研修を開催することで、地域の実情に応じた在宅医療提供体制の構築や在宅医療・介護連携推進の構築を図ることができる。
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	在宅医療・介護連携推進事業を推進していく上で、効果的な課題抽出のための評価分析は必要であり、研修実施は県の市町村支援策として、その必要性は極めて高い。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	評価分析は技術的な難易度が高く、現状では実施できていない市町村もあるため、本事業により継続的な支援が必要。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 3	評価指標を研究している大学教授等に講師を依頼することにより、高度な内容の研修を実施している。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 評価指標分析の基礎となる診療報酬・介護報酬データの入手について、県国保連合会との調整や、指標の検討が必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 評価指標分析結果を市町村が他市町村に事例紹介する等、指標評価の必要性の啓発等を実施する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	